

AI セキュリティ EDR

- AI や機械学習による不正検知と対応を実現 -

EDRは“未知の脅威”に対応します。

侵入防壁製品アンチマルウェア



EDR とは？

「EDR (Endpoint Detection and Response)」は、AI や機械学習を活用して従来のウイルス対策や攻撃検知に加え、未知の脅威や不正な挙動をリアルタイムで検出・分析し、迅速な対応を実現します。

具体的な機能として、PC、スマートフォン、サーバーなど、データやシステムへのアクセスが可能なすべての端末を

対象に、ウイルスやマルウェアからの攻撃を検知・防御する機能があります。

「EDR」は、サイバー攻撃やデータ漏えいなどのリスクを最小限に抑えるために必要であり、企業や組織、個人にとっても重要なソリューションです。

クエストが提供する EDR ソリューション（一例）

取扱い製品の一例として、当社がパートナー契約を結ぶ **Cybereason (サイバーリーズン)** の「EDR」および「MDR(Managed Detection and Response)」ソリューションがあります。

同ソリューションは、AI によるリアルタイム検知と専門家による 24/7 監視で高度なサイバー攻撃に対応しており、包括的なエンドポイントセキュリティ対策を実現します。

「EDR」と「MDR」の概要は以下の通りです。

■EDR：エンドポイント（PC、サーバー、モバイルデバイス等）上の脅威を検出・分析し対応するソリューション。

■MDR：「EDR」を活用し 24/7 の監視と分析、インシデント対応を外部の専門チームが実施し、企業のセキュリティ運用を支援するサービス。

Cybereasonの特長

AIによるリアルタイム検知と、専門家による24/7監視で“高度なサイバー攻撃”に対応

- ・「AI」と「機械学習」を用いてエンドポイントの異常な活動をリアルタイムで検知
- ・サイバーセキュリティの専門家が“24時間365日監視”を行い、迅速に脅威に対応
- ・日本のお客様に寄り添った体制を整えており、品質と改善を製品・サービスにフィードバックが可能
- ・エンドポイントセキュリティソリューションとしては“国内トップシェア”を誇り、完全日本語対応
- ・データ処理、データ保存は日本国内で、サービス契約の準拠法は日本法令が適用

有効な製品群

① Cybereason

② CrowdStrike

③ Trend Micro Apex One

Cybereasonのサービスメニュー

CybereasonEDR for Workstation CybereasonEDR for Server (Japan Hosting)	・ EDRによる検知、自動分析、対処機能のご提供、PC OS用ライセンス ・ 製品サポート
Endpoint Prevention	・ 次世代アンチウイルス機能のご提供： ↳ パターンマッチング、AI検知、ファイルレスマルウェアブロック、 アンチランサムウェア機能 ↳ 脆弱性防御、振る舞いドキュメントの保護 ・ エンドポイント制御機能のご提供 ↳ デバイスコントロール (USB)、パーソナルファイアウォール
MDR Complete	・ SOCによる監視サービスの提供 (24/7)※状況監視、通知、リスク判定 ・ 推奨対処方法のご提示 ・ 対処の代行 (Complete) ・ プロアクティブ脅威ハンティング (Complete) ・ 次世代アンチウイルス検知内容の分析 (Complete) ・ 月次レポート、四半期脅威情報レポート (Complete) ・ 追加解析レポートの提示 (リスク緊急のみ)
Deployment & Training サービス ※ 初期費用	Cybereasonサーバ構築 (クラウド)、初級・中級トレーニング、導入支援

※このカタログの内容は2024年9月時点のものです。 ※出典: Cybereasonご紹介資料より抜粋

▽ WEBから詳細・関連ページをご覧ください。

<https://www.quest.co.jp/security/ai-security.html>
https://www.quest.co.jp/security/edr_cybereason.html

■ 株式会社クエスト



本社：東京都港区芝浦 3-1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワー N 14F
TEL：03-3453-1181